

## 伊集院保健所感染症情報

2024年第42週（令和6年10月14日～令和6年10月20日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## ● 定点把握感染症 管内警報発令：咽頭結膜熱

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第39週	第40週	第41週	第42週	先週からの増減	第41週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.20	0.00	0.00	1.20	↗	1.34	↗
COVID-19	—	—	—	0.40	0.60	1.00	0.00	↘	1.58	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	2.33	3.33	2.00	5.00	↗	0.63	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	0.33	1.33	2.67	1.67	↘	1.51	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.67	0.67	3.67	3.00	↘	3.82	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.14	↗
手足口病	5	2	—	4.67	3.00	2.00	1.33	↘	9.80	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.33	0.33	0.00	↘	0.35	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	1.00	0.00	0.33	↗	0.82	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.33	0.33	0.00	0.00	→	0.65	→

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## ● TOPIC マイコプラズマ肺炎に注意しましょう。

（厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課より通知）

マイコプラズマ肺炎が県内・全国で流行しています

マイコプラズマ肺炎は、小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられ、1年を通じ発症し、特に秋冬に増加する傾向があります。

また、潜伏期は通常2～3週間で、初期症状は発熱、全身倦怠感、頭痛などです。咳は、初発症状出現後、3～5日から始まることが多く、解熱後も3～4週間続きます。

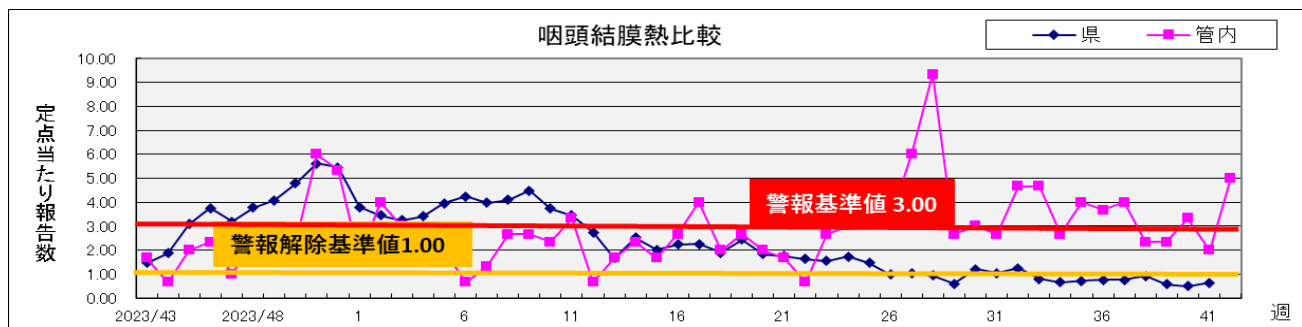
感染した人の咳のしぶき（飛沫）を吸い込んだり（飛沫感染）、感染者と接触したりすること（接触感染）により感染すると言われていています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。

保育施設、幼稚園、学校などの閉鎖施設内や家庭などでの感染伝播はみられるものの、短時間の曝露による感染拡大の可能性はそれほど高くなく、濃厚接触により感染することが多いと考えられています。

予防法方法として、普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

## ● 注意すべき感染症

### ● 咽頭結膜熱（管内警報発令中！）



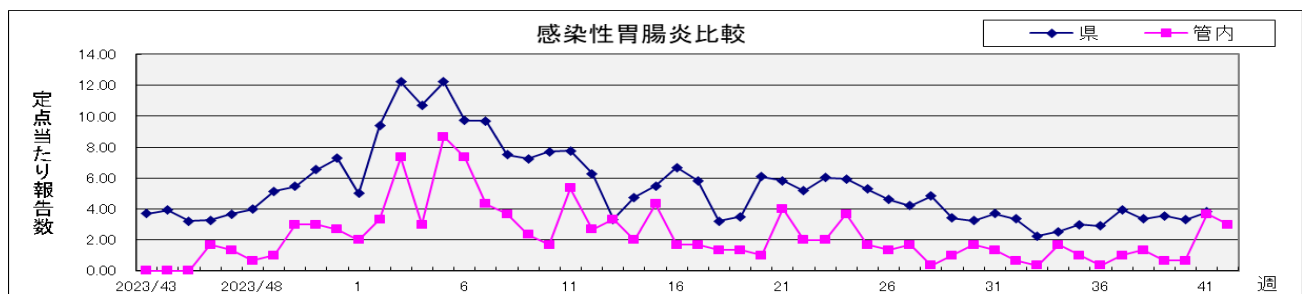
今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の6人（定点当たり2.00）から9人多い15人（定点当たり5.00）でした。

年齢別では、1歳（6人）、3歳（4人）、2歳・5歳（各2人）、4歳（1名）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。

感染予防対策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

### ● 感染性胃腸炎



今週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の11人（定点当たり3.67）から2人少ない9人（定点当たり3.00）でした。年齢別では、20歳以上（3人）、0～11ヶ月・1歳（各2人）、2歳・15～19歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、毎年秋から冬にかけて流行します。

原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫もあります。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。潜伏期間は1～3日程度です。ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、有症期間は平均24～48時間です

感染予防としては、トイレの後、調理、食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ノロウイルス等の便やおう吐物を処理する時は、次亜塩素酸ナトリウム液を用い、手袋、マスク、エプロンを着用し処理しましょう。なお、カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

### ○学校における感染症による出席停止の状況 10/14～10/20（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、インフルエンザが1人、インフルエンザA型が6人、流行性角結膜炎が1人、感染性胃腸炎が1人、溶連菌感染症が3人、マイコプラズマ感染症が1人、COVID-19が1人の報告がありました。

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	流行性角結膜炎	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市	1	0	1	1	2	1	1
いちき串木野市	0	6	0	0	0	0	0
三島村	0	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	1	0	0
計	1	6	1	1	3	1	1